

競争入札経過調書（総合評価落札方式(除算方式)）

件名 那覇空港エプロン照明灯用高圧ケーブル切換その他工事

開札年月日 令和4年4月8日 (落札決定日 令和4年4月27日)

入札執行官署 大阪航空局

落札金額 ￥23,980,000 -

落札者 株式会社海邦

予定価格 ￥26,576,000 -

積算額 ￥26,576,000 - 入札書比較価格（予定価格の100/110） ￥24,160,000 -

調査基準価格 ￥24,046,000 - 調査基準価格の100/110 ￥21,860,000 -

基準評価値 413.907

低入札価格調査実施済 第1回目落札

入札参加者	評価点 (満点122点)	第1回入札			第2回入札			摘要
		入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	入札金額	評価値	評価値 ≥ 基準評価値	
株式会社海邦	109.5	21,800,000	502.293	○				落札
株式会社大輝	-	22,400,000	-	-				
栗原工業株式会社	-	40,000,000	-	-				
マエダ電気工事株式会社	-	25,850,000	-	-				

※ 入札金額は入札者が見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額である。
 ※ 予定価格（入札書比較価格）の範囲内の入札金額であり、評価値の最も高い者を落札者とする（なお、その範囲に満たない入札金額の場合は、各点数を表示しない。）
 ※ 評価値は、評価点を各回入札の入札金額（億単位換算）で除して算出する（小数点以下第3位まで表示）。
 ※ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の10%に相当する額を加算した金額（1円未満の端数は切り捨て。）をもって落札金額とする。
 ※ 本件は、予算決算及び会計令86条第1項の規定に基づく調査を実施し、令和4年4月27日に落札者を決定した。

工事名 : 那覇空港エプロン照明灯用高圧ケーブル切替その他工事 大阪航空局

調査を実施した業者名、住所 : 株式会社海邦 沖縄県北谷町字桃原15-10

項目	内容
1. その価格により入札した理由	当該工事で調達する高圧ケーブル、光ケーブルなどの資材は、長年、取引関係のある業者から集中して資材調達することにより廉価で確保可能としている。また、本社及び資材ヤードが近隣に位置するため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能としている。さらに舗装工事を除く工事を自社社員で行うこととしており、外注費を抑えることが可能としている。 以上の理由から当該入札価格でも十分に安全及び品質を確保した施工が可能と判断している。
2. 契約対象工事附近における手持工事の状況	現在施工中の手持ち工事は2件あるが、本工事で配置を予定している主任技術者兼現場代理人は現在施工中の手持ち工事には従事しておらず、本工事へ「専任」の予定であることから、予定している技術者の配置は適正であると思料される。
3. 契約対象工事に関連する手持工事の状況	現在施工中の手持ち工事は2件あるが、本工事で配置を予定している主任技術者兼現場代理人は現在施工中の手持ち工事には従事しておらず、本工事へ「専任」の予定であることから、予定している技術者の配置は適正であると思料される。
4. 契約対象工事箇所と入札者の事業所、倉庫等との関連(地理的条件)	当該工事場所である那覇空港は調査対象者の本社及び資材ヤードが近隣に位置するため、資機材運搬・管理面において経費の節減が可能で、緊急時の対応及び安全管理に優位性があることを確認できた。
5. 手持資材の状況	手持資材はなく、今回工事において調達することとしている。
6. 資材購入先及び購入先と入札者との関係	永年にわたり取引がある業者から集中して資材を調達することにより廉価で購入することが可能であることを資材販売店の作成した見積書により確認できた。
7. 手持機械数の状況	当該工事で使用するバックホウやダンプトラック等を自社で保有しており、損料計上が優位であることを提出資料により確認できた。
8. 労務者の具体的供給見通し	①労務者について、確保計画及び配置予定によって適切な施工が可能かを確認する。 ②労務者について、自社の者を従事させることとなる場合には、名簿の提出を求め、雇用関係の確認は健康保険証等の写しにより確認する。 電気工事について、すべて自社のものを従事させるとしており、雇用関係は健康保険証の写し、施工等に必要な資格は資格者証等にて確認したほか、舗装工事については協力会社である下請業者が行うこととしており、各工種別に労務者を適切に配置する予定であることを確認できた。
9. 過去に施工した公共工事名及び発注者	①那覇(R3)通信施設整備工事(陸上自衛隊) ②ポリテクセンター高圧ケーブルの取替 業務一式(独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構) 外8件
10. 経営内容	財務諸表の数値から見て履行がなされないという状況は見られない。
11. 1から10までの事情聴取した結果についての調査検討	本件において、配置予定技術者及び過去の公共工事の施工状況から施工面について問題があるとはいえないことなどから、契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあるとは認められなかった。
12. 9の公共工事の成績の状況	過去に施工した公共工事を確認したところ、平成28年度～令和3年度において、電気設備工事として、防衛省1件、独立行政法人1件、その他地方公共団体等8件の計10件の施工実績があった。 国発注工事において工事成績評定のあったものはなかったが、施工実績数から概ね適切な施工が行われているものと思料される。 なお、調査基準価格を下回る価格で受注した工事はなかった。
13. 経営状況	非公表
14. 信用状態	①建設業法違反の有無 なし ②賃金不払いの状況 なし ③下請け代金の支払遅延状況 なし ④その他
15. その他必要な事項	